

# エコ？それとも 自然破壊？

## 再エネって本当にいいの？



森林



伐採



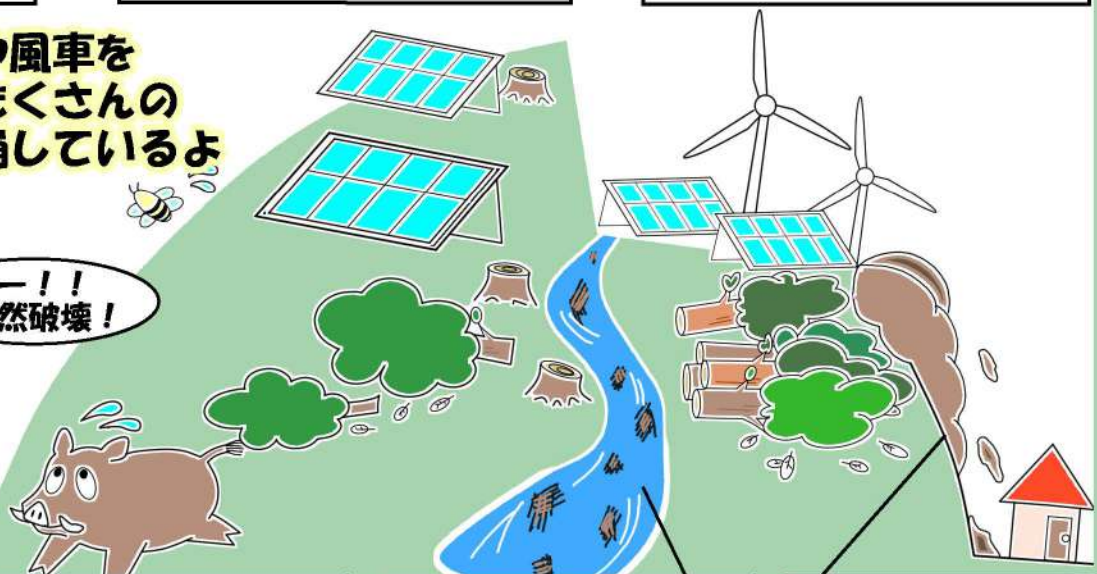
ソーラーパネル設置



① ソーラーパネルや風車を  
山に造るとき、たくさんの  
木を伐り、山を崩しているよ



まー！！  
自然破壊！



一度壊した自然は  
戻らない！  
今すぐ再エネ名目の  
森林破壊も止めよう！

僕たちは里に出て  
いくしかないよ！

川の水が濁ったり  
枯かつたりするよ

切り土や盛り土  
が崩れて、土砂災害  
の危険があるよ

② 再エネ推進のためのお金は私たちの毎月の電気料金の上乗せから  
出ているのに、住民への説明や同意がなくても工事が進むのはどうして？



再エネ推進のためのお金は、  
私たちの毎月の電気料金に  
再エネ賦課金として、  
年平均約14500円が各家庭の  
電気料金に上乗せされています。

住民が反対してるのに  
工事が止まらないよ！



自然を破壊する自然再生エネルギーなど、本末転倒！  
再エネは、都市部で推進すべきです。

# 長崎県 五島列島の一つ宇久島のメガソーラー建設計画

島の面積2500haに対して、事業地面積720ha。島の面積約4分の1以上をメガソーラーに変える計画が、住民の意向を無視して着実に進められています。

## 住民は何度も説明要求

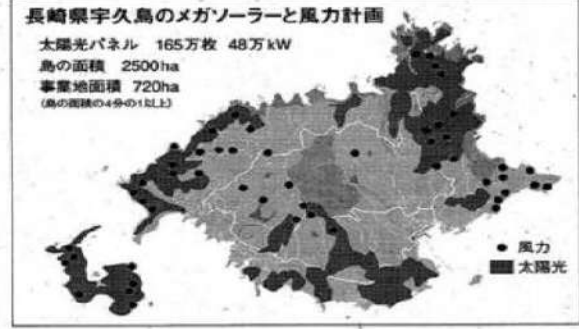
島の四分の一、日横暴な手法に憤り

長崎県佐世保市宇久島(二〇〇世帯・約一九〇〇人で計画されているメガソーラー計画)をめぐり、住民が何度も事業計画の説明を求めたにもかかわらず、事業者である九電工(福岡市)を中核とする「宇久島みらいエネルギー合資会社」は住民全体への説明を聞かないまま森林伐採工事を始めている。

## 「守る会」が公開質問状提出

これに対して地元の見聞会や牛部会、地権者らによる「守る会」が公開質問状を提出し、「今すぐ伐採工事を中断し、住民への説明を」と訴えている。

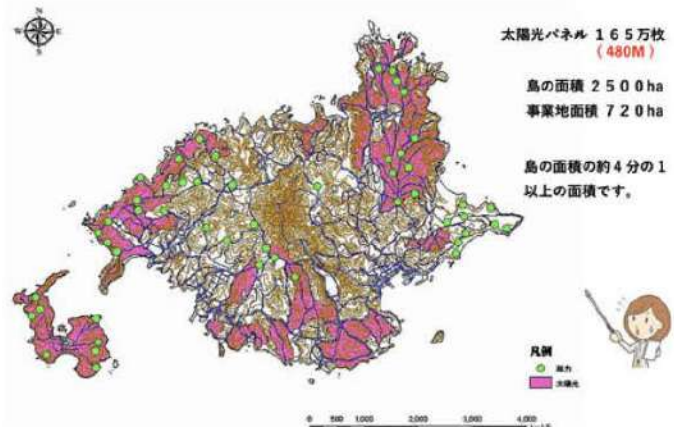
このメガソーラー計画は、宇久島の面積の四分の一以上にあたる七二〇haを事業地とし、そこに二六五万枚のソーラー



八万円で、発電量は日本一となる。この事業には京セラ、みずほ銀行、十八親和銀行などが出資を予定している。また、宇久島には風力発電計画も持ち上がっているが、それは二〇〇〜四〇〇haの規模を三二基建てる(総出力一〇万kW)というのだ。これに対して住民たちは、事業者の強制的に住民の意向を無視して着実に進められています。

「守る会」は公開質問状を提出し、「今すぐ伐採工事を中断し、住民への説明を」と訴えている。また、事業者は自分たちで事業の早期着工を願っているが、住民は署名を迫り、市長や県北漁業協同組合に提出した。署名用紙一枚につき一世帯の賛同と、住民の七割が賛同している。住民の意向を無視して着実に進められています。

長崎新聞  
令和3年10月25日



大規模な面積を必要とするメガソーラーは土地代が安く、抵抗力の少ない過疎地を狙う。しかし、九州では自然エネルギーの電力が原発4基分も廃棄されているのに、本当にこのような物が必要なのだろうか？この宇久島の計画以外にも、数々の問題を抱える再エネ開発が今、横行している。

詳しくは再エネ問題連絡会のHPまで→

